

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。
研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

予防医学研究センター受診者におけるビタミンDの過不足における実態調査と疾患との関係の検討

2. 研究の対象患者

旭中央病院(当院)予防医学研究センターを受診した者でビタミンD測定を施行した受診者を対象とする。

・ 選択基準

以下の基準を全て満たす受診者を対象とする。

- 1) 旭中央病院予防医学研究センターを受診し、25OHビタミンD測定を施行した対象者
- 2) 性別不問
- 3) 年齢不問

・ 除外基準

以下のいずれかに抵触する受診者は本研究に組み入れないこととする。

- 1) 腎機能障害にて腎代替療法を受けている方
- 2) その他、研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した者

3. 研究の対象期間

2022年4月1日～2025年3月31日

4. 研究の概要

ビタミンDは、脂溶性ビタミンの一つであり、経口摂取とともに日光浴によっても生成され、骨代謝におけるカルシウム吸収に関係し、骨粗鬆症や骨折との関係が古くより報告されている。ビタミンDは肝臓に運ばれ25-ヒドロキシビタミンD (25-(OH)ビタミンD) と呼ばれ、体のビタミンDの過不足を表すとされる。これが血清で測定できるようになった。最近では、認知機能、動脈硬化、自己免疫疾患やコロナ感染による重症化にも関連するとの報告がある。ビタミンDの欠乏の指標として25OHビタミンD測定が指標になる。当予防医学研究センターでは2022年4月よりオプションとして25OHビタミンD測定を取り入れ欠乏や低下の健診者には早期介入を始めた。今回旭近郊におけるビタミンDの過不足の状況をまとめ、疾患との関連を検討する実態調査を計画した。

5. 研究実施予定期間

2023年5月17日～2025年12月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：受診時年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、最終観察日・観察項目

〔血液学的検査〕：RBC、Hb、WBC、Neu(%)、Lym(%)

〔血液生化学的検査〕：血糖値、HbA1c、LDL-C、HDL-C、T-CHO、TG、BUN、Cre、eGFR、GOT、GPT、LDH、CRP、TP、ALB、Na、K、Cl、Ca、P、25OHビタミンD

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者(又は代諾者)個々に開示することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者： 予防医学センター 橋本尚武

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)